

連合「なんでも労働相談ダイヤル」(☎ 0120-154-052)
2017年3月 相談集計報告

○全体の特徴

■全体で1,309件の相談が寄せられた。前年同月と比べて、性別では男性からの相談、年代別では40代からの相談、雇用形態別では正社員・パート・契約社員・臨時非常勤職員からの相談が、件数・割合ともに増加した。

■業種別では、「サービス業」が15.8%と最も多く、次いで「製造業」(15.6%)、「医療、福祉」(14.7%)となっている。相談内容では、「セクハラ・パワハラ・嫌がらせ」が13.6%と最も多く、次いで「解雇・退職強要・契約打ち切」(12.8%)、「雇用契約・就業規則」(10.4%)となっている。

■具体的な相談では、「上司のパワハラで2年間で10人も退職している職場である。そのため人手不足で、休みもとれず、病欠中でも『早くでてこい』と電話がかかってくる」「パワハラを受けて、労働局から助言・指導をもらったが、エスカレートしたので退職することにした。退職届の理由にパワハラと書いていいか」といったパワハラについての相談が寄せられた。

		2017年		2016年			
集計対象期間		3月1日～3月31日		3月1日～3月31日			
受付件数(受付件数のみ報告分含)		1,309		1,333			
報告(本部・地方)数		48		48			
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	729	55.7%	男性	705	53.3%	
	女性	580	44.3%	女性	617	46.7%	
年代 (不明除く)	10代	8	0.8%	10代	10	1.0%	
	20代	111	11.3%	20代	134	13.2%	
	30代	217	22.1%	30代	230	22.7%	
	40代	324	33.1%	40代	296	29.2%	
	50代	218	22.2%	50代	224	22.1%	
	60代	88	9.0%	60代	104	10.3%	
	70代	14	1.4%	70代	16	1.6%	
雇用形態 (不明除く)	正社員	655	53.0%	正社員	643	51.0%	
	パート	215	17.4%	パート	200	15.9%	
	アルバイト	58	4.7%	アルバイト	87	6.9%	
	派遣社員	50	4.0%	派遣社員	67	5.3%	
	契約社員	156	12.6%	契約社員	140	11.1%	
	嘱託社員	13	1.1%	嘱託社員	13	1.0%	
	臨時・非常勤職員	13	1.1%	臨時・非常勤職員	12	1.0%	
その他	77	6.2%	その他	98	7.8%		
業種(上位) (不明除く)	1位	サービス業(他に分類されないもの)	154	15.8%	サービス業(他に分類されないもの)	176	18.8%
	2位	製造業	152	15.6%	医療、福祉	159	17.0%
	3位	医療・福祉	143	14.7%	製造業	135	14.4%
	4位	卸売・小売業	122	12.5%	卸売・小売業	102	10.9%
	5位	運輸業	97	10.0%	運輸業	101	10.8%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	178	13.6%	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	153	11.5%
	2位	解雇・退職強要・契約打ち切	167	12.8%	解雇・退職強要・契約打ち切	151	11.3%
	3位	雇用契約・就業規則	136	10.4%	雇用契約・就業規則	114	8.6%
	4位	退職金・退職手続	89	6.8%	退職金・退職手続	90	6.8%
	5位	不払い残業、休日手当・割増賃金未払	66	5.0%	不払い残業、休日手当・割増賃金未払	80	6.0%
	年次有給休暇	66	5.0%				
情報源・ルート (不明除く)	新聞・雑誌	52	4.8%	/			
	ラジオ・テレビ	31	2.9%				
	ビラ・チラシ・パンフ(含折込)	133	12.4%				
	ホームページ	544	50.7%				
	SNS(フェイスブック・ツイッター)	16	1.5%				
	紹介(労基署等)	63	5.9%				
	その他	235	21.9%				